ふるさとの杜再生プロジェクト

プロジェクトの目的…東部地域のみどりの再生・創出

プロジェクトの目標…東日本大震災で失われたみどりの再生に加え、復興の過程で生まれる新しいみどり(=ふるさとの杜)を市民協働で植え育てることで、やがて防災や環境保全の機能を持つ東部地域固有の風景を再生し、市民の暮らしに根ざしたみどりを創造します。

また再生した「ふるさとの杜」を活用し、レクリエーションや文化活動を行うことで市民の心のふるさとともなることを目指します。

「ふるさとの杜」のイメージ図。仙台市民が植えるものみどころと、風景となっていくことを目指します

海岸林の成長イメージ

海側のクロマツが高く成長し、植樹の広葉樹などを海風から守る役割を果たす。鳥が種を運ぶなどして、実生が出現める。クロマツと広葉樹が少しずつ混じり合い、地域固有の林本来などを徐々に再生していく。

それぞれ仕組みの樹種を基調としながらも、限りある土地の海岸林が形成される。本来種も育ち、成長し、生態系も形成される。広葉樹が葉や実と才時期でも、海側のクロマツと、陸側の広葉樹(シラカシ等)が防風の役割を果たす。

広葉樹がクロマツの根元に生えようとなり、海岸林として、安定する。

「ふるさとの杜再生寄付」を募集しています

寄付金は、「ふるさとの杜再生プロジェクト」事業に使用する苗木や資材の購入費用などに充てさせていただきます。寄付金につきましては、税制面で優遇されます。ふるさとの杜の再生に向けて寄付をお支援をお待ちしております。

「育樹会」年間予定

	第13回	第14回	第15回	参加費無料	定員40名
開催日時間	7月20日(土) 10時～14時	8月31日(土) 10時～14時	9月14日(土) 10時～14時		
会場(集合場所)交通費	井土地区(国際広場)	荒浜地区(海岸公園センターハウス)	閖日地区(クラブハウス)		
内容	育樹作業・ゴミ拾うで遊ぼう	育樹作業・ジャムづくり	育樹作業・昆虫採集		
申込期日	7月6日(土)	8月17日(土)	9月23日(月)		

※雨天は延期に集結とします。※持ち物:軍手、鎌や枝、軽食、飲物、スタンプカード(持っている人)※育樹作業とは、苗木のまわりの草、枯れたところへの補植、施肥作業をこと。

【育樹会 申込方法・申込先】各団共通

●申込開始日より電話で受付(受付時間:9時～16時)
●先着順、定員になり次第終切

育樹会事務局:仙台市海岸公園センターハウス
(TEL4-0033 仙台市若林区荒浜字北原№30)

お申込み先…☎022-288-4021

6月15日(土)に海岸防災林(荒浜字南宮林地区)での30名の市民の皆さま植樹会を行いました。

「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」Facebookページをご覧ください!

仙台ふるさとの杜再生プロジェクト

ふるさとの杜再生プロジェクトに関するお問い合わせは、仙台市建設局百年の杜推進課 022-214-8389まで

百年の杜づくり あしたのみどりキャンペーン

2019

キックオフ特集

みどりを通して、地域の再生を子どもたちに学びの場を

あしたのみどりキャンペーンは、杜の都のみどりを育むことを目的に2009年にスタートしました。震災後には「失われたみどりの再生」をテーマに加えて展開。投稿により加算された寄付金は、仙台市の百年の杜づくり推進基金および震災復興を支援する市民団体に寄付し、被災地域でのみどりを通じた復興支援活動に役立てられました。16年からは、幼稚園や地域の団体などの要望を受け、植樹・花壇づくり支援を実施。地域コミュニティー再生に寄与する取り組みを続けてきました。

スタートから11年目となる今年も、みどりを通じた地域再生を支えるとともに、仙台市市制130周年、政令指定都市・区政移行30周年「記念植樹」ともタイアップし、市民一人一人にみどりを育むための活動を広げることを目指し展開します。

植樹から10年 三神峯公園のサクラ

植樹公園や西公園と並ぶ桜の名所として親しまれている太白区の三神峯公園。中央の芝生広場を囲むように桜の木が植えられ、毎年春には大勢の花見客でにぎわいます。太白区では、この三神峯公園を一新しい桜の杜として充実させるため、植樹活動とも連動できました。

2009年、市制施行120周年と区制施行20周年を記念として行われた市民植樹(=「あしたのみどりキャンペーン」も協力)「寄付金の一部を活用してマイメイジャやセンダイヤをはじめ26種の桜が、市制施行の年数に合わせて120本植えられました。これにより49種、約800本の桜が公園内に並び、樹齢を重ねて、毎年春に美しい花を咲かせています。

樹齢から10年、愛情を込めて育てられた桜の木は、今年で10年目を迎えています。

植樹から10年、愛情を込めて育てれば、応えてくれるのが樹木です。葉が茂り、少しずつ大きな木へ、そうした様子を目にすることで、暮らしの中に喜びや感動をもたらしてくれます。桜の咲く4月、樹齢10年の木も美しい花を咲かせ、多くの市民がその美びと感動を味わいました。四方に伸びた枝は、さらに葉を茂らせ、豊かなみどりを育つ。今後の成長が生き生き楽しみです。

2009年10月に行われた市民植樹の様子。地域の子どもたちも一緒に、桜の苗木を植えました

植樹から10年、まもなく花を咲かせる三神峯公園のサクラ(2019年4月撮影)

企画・制作 河北新報社営業局

将監東中学校 生徒たちの笑顔と学びから喜びを

教室の前につくった花壇が見事に花を咲かせて

満開の桜の上に、季節外れの雪が降り積もってから1週間後の4月13日、将監東中学校の校庭に設けられた明るい南向きの花壇には、ビオフェーリップの花が、ひとまわり鮮やかに咲き誇っていました。花壇づくりからその後の植え付けまを担当したのが、特別支援学級あるが学級の生徒たち。教室の目の前に花壇があり、これまでも授業の一環として花を育てていたものの、思うように咲かせられなかったことからも、あしたのみどりキャンペーンに応募することにしました。

昨秋、専門家である「花と緑の力で3・11プロジェクト(=花プロ)」の鎌田さんが、花壇の状況を視察し、問題点を指摘。まず生徒たちが花を大好きになるように、花壇づくりの主導を兼ね鎌田さんが先生となって授業が行われました。授業では、実際に植えるスペンダーなどの植物や、入れ替える土を生徒に見せるとともに、「ビオフェーリップの球根の植えかたについては、説明の通りにしてください。花壇の土を良質なものに入れ替え、そこにビオフェーリップの苗やチューリップの球根、ラベンダーなどを植えていきました。

ジョウロでたっぷりまるる林上聖成くん。土の状態を指触れチェックし、乾いていれば乗元して水をまいてました

学校も取り組みを評価 もっと花壇を広げていきたい

「植えた直後に、動物などのが被のわかりませんがこを掘り返されました。それが何回か続いたので、被害を防ぐため、作業学習の時間にペットボトルを切って風車のようにしたものをつくりました」と話してくれたのは、あすが会級を担当している教員学生。風車状のものをカラシがわりに花壇の周りに設置したほか、水のペットボトルに光に反射する色紙を入れて四隅に置いたりと、被害がなくなったとのこと。

日当たりのよい花壇のため、水やりもこまめに。毎朝、土の乾き具合をチェックし、天気のいい日には率先して水をまいてくれたのが2年生の村上聖監斗。この日も熱心に水やりをしながら、「キレイに咲くとうれしいし、嬉しくなります」と話してくれました。雑草に気がつけば、作業学習の時間に生徒たちの手で取り除いていました。

こうしてこまめに手をかけたおかげで、予想以上に見事な花を咲かせてくれました。以前も花壇はつくっていたのですが、こうまきれいには咲きませんでした。咲いても、そんなに感動はありませんでしたが、きれいに花が咲くことでもたちの心度が高まり、花を眺める喜び自分に笑顔になりますと話っていました。

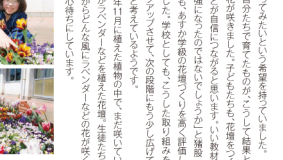
教員学生、今後も、あすが学級として花壇をさらに育てていきたいとのことです。そして今後は花壇だけでなく、もっと花壇を広げ、学校の玄関周りの花壇もやってみたいという希望を持っていました。

「自分たちで育てたものがこうして結果となって花が咲きました。子どもたちも、花壇をつくったことが自信になったと思います。いい教育いい効果に、あすが学級の花壇づくりを高く評価しています。学校としても、こうした取り組みをステップアップさせて、次の段階にも少し広げていこうと考えているようです。

昨年11月に植えた植物の中で、まだ咲いていないのがスペンダーなどを植えた花壇。生徒たちは、これからどんな風にスペンダーなどの花が咲くのかを心待にしています。

もやってみたいという希望を持っていました。

花のポーズで写真に納まる、あすが学級の皆さんと鎌田一博校長。これまでも花壇づくりをしてきましたが、ここまで見事に咲かせることはできませんでした。



色とりどりのチューリップとビオラで覆われた花壇。美しく咲いた花を眺める生徒たち。思わず笑みがこぼれます

石巻地区集会所 みんなで大切に手をかけてきた花壇

こぼれんばかりに美しく咲き誇って

10連休の初日にあたる4月29日、若林区荒浜にある石巻地区集会所の入り口脇に設けられた花壇では、色とりどりのチューリップとビオラが、花壇の縁からはみ出すかのように、ボリューム感いっぱいに咲いていました。

集会所は、防災集団移転で移ってきた方々の宅地から近く、隣に公園もあることから、地区の拠点となっている施設。以前は老人クラブの方々が自宅にあった花や球根を持ちよって植え育てをしているものの、石巻川レリの土のため草丈も低く思うようには育ちませんでした。

そこで、花壇をきれいにすることにより、気持ちも明るくなる、集会所を訪れる人にも花を見てもらいたい、との思いから、町内会長の大久保さんが、あたらしいみどりキャンペーンに応募。昨年の10月下旬、現地を見て改善策を考えた花プロの鎌田さんの指導のもと、2日間に分けて花植づくりを行いました。1日目は既存の土の上に良質な黒土を厚くかぶせることとに、排水対策を敷くことで水はけを改善。さらには花壇の縁にするためのレンガを整然と並べていきました。それから3日目にビオフェーリップの球根、ジギタリスなどの宿根草を町内会の皆さんで手分けして植えていきました。

後方に植えるあるジギタリスやチューリップなどの宿根草は、これから夏にかけて花を咲かせます

地区の皆さんが手入れをしてきた花壇。内向き心感よりも開花が1週間ほど遅いらしく、ちょうどチューリップが見ごろを迎えていました

行き交う人、訪れる人の目を楽しませ、心を和ませ

「これだけキレイに咲くとうれしいですね」と語る町内会長。この場所は決に近いせいかなかなか気温が上がらず、花が咲くのが街中よりも1週間ほど遅いとのこと。確かに、市内中心部ではチューリップは散りはじめているのに、ここでは真っ盛りの状態。集会所は近隣の子どもたちの公園としても使われており、隣が公園でもあるため、花壇は多くの子どもたちの目を楽しませています。

昨年10月に植えた後の花壇の手入れは、町内会担当の班が持ち回りで集会所と公園を清掃する際に、花壇の草取りなどを行っていました。「花って自己に優しい、気持ちがなかなかいいですね」と話すのは、班の一員として手入れをしてきた大久保紘子さん。花壇の縁にするためのレンガを整然と並べていました。それから3日目にビオフェーリップの球根、ジギタリスなどの宿根草を町内会の皆さんで手分けして植えていきました。

町内の各班が集会所と公園を清掃する際、「みんなで一生懸命」手入れをしてきたと話す大久保紘子さん

花壇の前でポーズを取る地区の方々と鎌田さん(右端)。後ろの道路は、地区内を通る生活道路で、花壇を見て歩きが「きれいだな」と言ってくれるのこと

前の道路は、地区の多くの方々が利用しており、みなさんが「きれいですね」と言って通っていくのとのことです。

今年で11年目を迎えるあしたのみどりキャンペーンは、杜の都仙台の豊かなみどりを未来につないでいくため、みどりを育む活動を広げることを目指していきます。市民の皆さんも本キャンペーンに参加いただくことも、みんなでみどりに親しみ、一人一人ができることからみどりを育んでいきましょう。

宮城の生産者は、人と環境に今あふれ米づくりに取り組んでいます。農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下に減らし、手間をかけ、丹精込めて生産しています。それが「みやぎの環境保全米」です。

「環境保全米」は、このマークが目印です。

安心・安全「みやぎの環境保全米」の特徴

1. 水。土。生命。守りたい自然があります。農薬や化学肥料の使用量を減らし、環境や生態系への負担を軽減します。
2. みなさまに、安全・安心なお米をお届けします。環境に配慮したお米づくりを通じて、より安心して食べていただけるお米を供給しています。
3. おいしい笑顔のために、これからもずっと。安定した食種供給のために、お米が健やかに育つ環境づくりを続けています。

JA全農みやぎ 米穀部 米穀販売課 〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2番16号 TEL.022-264-8381 http://m-hozenmai.jp/

みどりを 楽しみ 育む

あしたのみどりキャンペーンは、みどりを通じた地域再生を支えるとともに、一人一人にみどりを育むための活動を広げることを目指し展開します。

2019 あしたのみどりキャンペーン 本日スタート! 12.31(Tue)まで

みどりを楽しもう! わたしの好きな「みどりのある風景」募集

宮城県内で、あなたの好きな公園、森林、田畑、緑地、公共施設、民間施設、道路、街角、一般家庭、その他で、みどりや花などがあるお気に入りの場所の情報を、画像データにコメントを添えて投稿してください。お寄せいただいた情報は、あしたのみどりキャンペーンのWEBサイトおよび一部を河北新報紙面で紹介させていただきます。

応募方法 あしたのみどりキャンペーンWEBサイトの投稿フォームから必要事項を入力し、画像を添付の上、投稿してください。

応募期間:11月30日(土)まで
公開期間:6月27日(木)～12月31日(火)
期間中ご応募いただいた情報を随時公開

投稿いただいた方には抽選でプレゼントが当たるチャンスも!
詳しくは、WEBサイトをご覧ください

抽選でプレゼント!

みどりを育てよう! 「植樹・花壇づくり支援」希望団体 募集

仙台市内を拠点とする、町内会・自治会・幼稚園・保育所、学校、地域の非営利団体などで、植樹や花壇づくりなどの支援を希望する団体を募集します。地域に花やみどりを育むために活動する、皆さまからのご応募をお待ちしています。

応募方法 あしたのみどりキャンペーンのWEBサイト、応募フォームから必要事項を入力の上、ご応募ください。

応募期間:7月31日(水)まで
植樹・花壇づくり支援実施時期:9～10月
実施数:2～3カ所を予定
(応募には条件があります。詳しくはWEBサイトでご確認ください)

http://www.a-midori.jp
あしたのみどり 検索